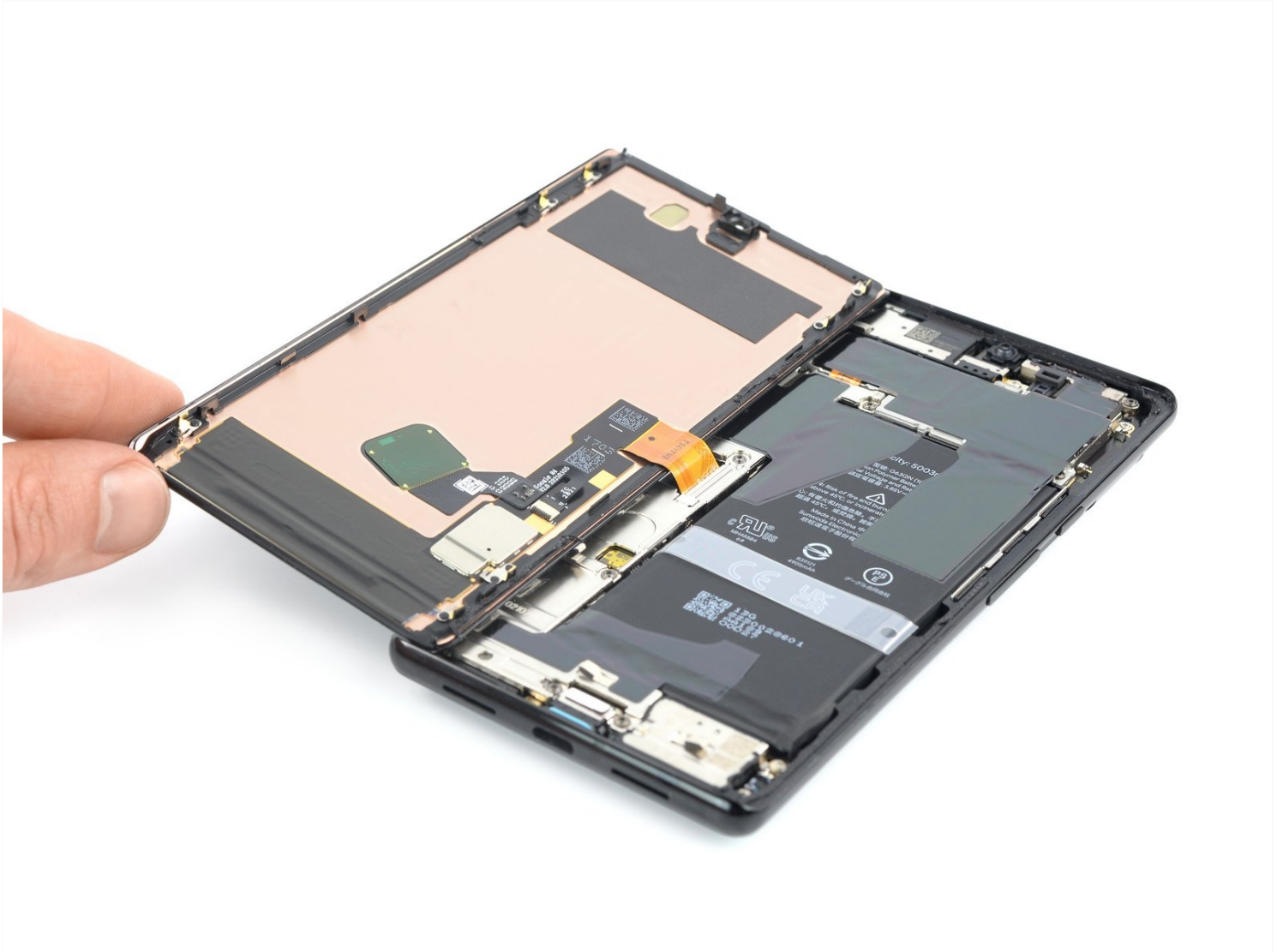




Google Pixel 6 Pro スクリーン交換

この修理ガイドはiFixitのテックライティングスタッフによって執筆されたもので、Google...

作成者: Dominik Schnabelrauch



はじめに

この修理ガイドはiFixitのテックライティングスタッフによって執筆されたもので、Googleによって承認されたものではありません。iFixitの修理ガイドのクオリティーについては、[こちら](#)を参照してしてください。

このガイドを使用して、Google Pixel 6 Proのひび割れた、もしくは破損したスクリーンを交換します。

新しい交換用スクリーンには、指紋リーダーがすでに取り付けられている場合があります。そうでない場合は、元の指紋リーダーを新しい交換用スクリーンに再インストールしてください。指紋認証リーダーを交換している場合は、[リーダーのキャリブレーション](#)を行う必要があります。

フレームが変形している場合は、新しい画面が正しく取り付けられ、不均一な圧力による損傷を受けないようにするために、フレームを交換することが重要です。

バッテリーが膨張している場合は、[バッテリーが膨張している場合の対処法](#)を参照してください。デバイスを分解する前に、**バッテリー残量を25%以下に放電**してください。これにより、修理中に誤ってバッテリーを損傷した場合に、危険な熱現象が発生するリスクを軽減することができます。

注意 Pixel 6 にはクラス 1 レーザーが搭載されています。分解すると、目に見えない赤外線レーザーにさらされる可能性があります。

修理後の防水性能は、接着剤の再塗布の状態にもよりますが、デバイスのIP（防水防塵性能）等級は失われます。

この手順を開始する前に、背面ガラスとスクリーンの両方の交換用接着剤セットを必ず用意してください。

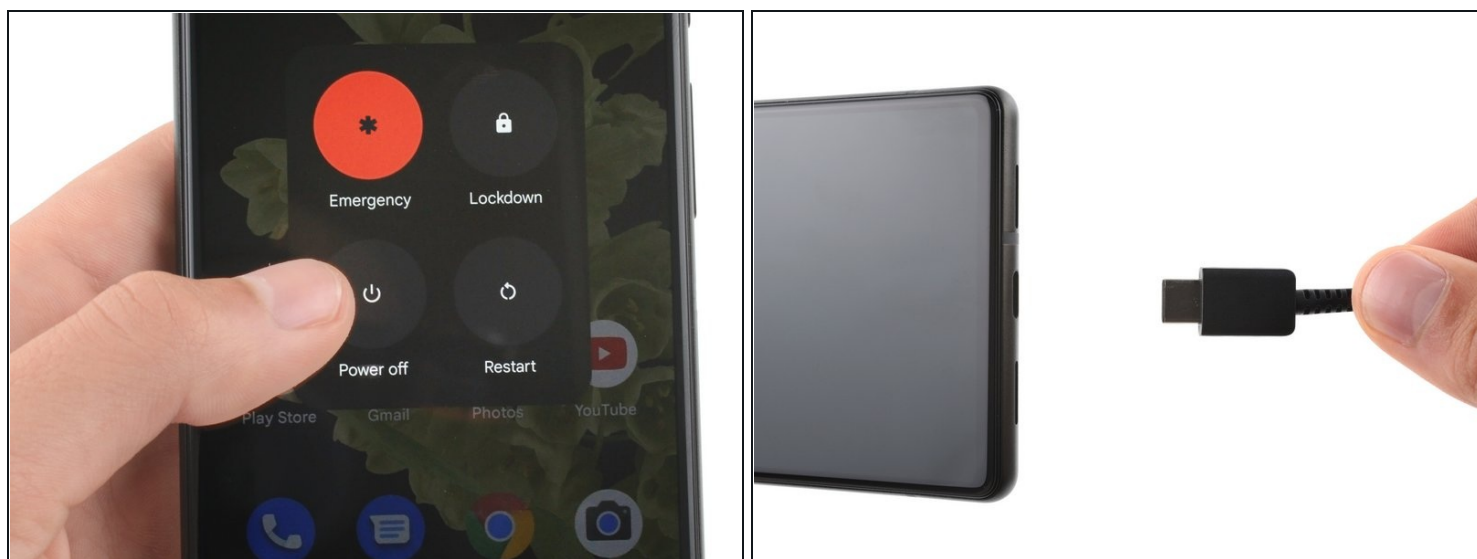
ツール:

- [iOpener](#) (1)
- [ハンドル付き吸盤](#) (1)
- [iFixit開口用ピック\(6枚セット\)](#) (1)
- [スパッジャー](#) (1)
- [ピンセット](#) (1)
- [T3 トルクスネジ用ドライバー](#) (1)
- [マイクロファイバー製クリーニングクロス](#) (1)
- [ヒートガン](#) (1)
- [Isopropyl Alcohol \(90% or Greater\)](#) (1)
- [Anti-Clamp](#) (1)

部品:

- [Google Pixel 6 Pro スクリーン](#) (1)
- [Google Pixel 6 Pro ディスプレイ用接着剤—純正品](#) (1)
- [プレカット接着カード](#) (1)
- [iFixit接着剤リムーバー \(バッテリー、スクリーン、ガラス接着剤用\)](#) (1)

手順 1 — 安全上の注意



⚠ 作業を始める前に、バッテリーの残量が25%以下になるまで放電してください。充電したりリチウムイオンバッテリーは、誤って穴を開けると発火したり、爆発したりすることがあります。

- デバイスの電源を完全に切り、ケーブルも外してください。

手順2 — リバースクランプの使い方



- ① 次の3つの手順では、デバイスの開口作業を簡単にするために開発されたツール、[リバースクランプ](#)の使い方を紹介します。リバースクランプを使用しない場合は、この3つの手順をスキップして別の方法をご覧ください。
- ① リバースクランプの詳細な使用方法については、[こちらのガイド](#)をご覧ください。
- ① スクリーン表面に亀裂がある場合は、透明の梱包用テープを重ねると、吸盤が密着しやすくなります。
- 青いハンドルをヒンジ側(背面側)に引くと、クランプのアームが解除されます。
 - iPhoneの左/右側の端に向けてアームをスライドします。
 - 吸盤カップをiPhoneの下端付近に装着します。上部に一つ、下部に1つずつ取り付けます。
 - 吸盤カップ両側をしっかりと締め合わせると、標的の場所にしっかりと装着させることができます。
- ① デバイスの表面が滑りやすく、リバースクランプがしっかりと装着できない場合は、[梱包用テープ](#)で表面を覆ってから、強いグリップを作ることができます。

手順 3



- 青いハンドルを手前に引くと、アームがロックされます。
- ハンドルを時計回りに360度回転させ、カップが両側をストレッチするまで回し続けます。
- 吸盤の位置が合っていることを確認してください。装着位置がずれ始めたら、吸盤を少し緩めてアームを装着し直してください。

手順 4



- 温めた*iOpener*をリバースクランプのアームに画像のように通します。
- ① [ヘアドライヤー](#)もしくは[ヒートガン](#)を使うこともできますが、極端に熱くするとディスプレイや内蔵バッテリーにダメージを与えることがありますので、注意してください。
- *iOpener*をデバイス下端に沿って重ねるように折りたたみます。
- 1分ほど待つと、接着剤が剥がれてきて、隙間ができます。
- クランプで十分な隙間ができたところで、スクリーンのフレーム下にオープニングピックを挿入します。
- ① クランプで十分な隙間ができない場合は、その部分にさらに熱を加えて、ハンドルを時計回りに半回転させてください。
- ⚠ 一度に半回転以上回さず、1分ほど待ってからさらに半回転、回します。時間をかけてリバースクランプを回していきます。
- 次の2つの手順はスキップしてください。

手順 5 — ディスプレイの接着を緩めます



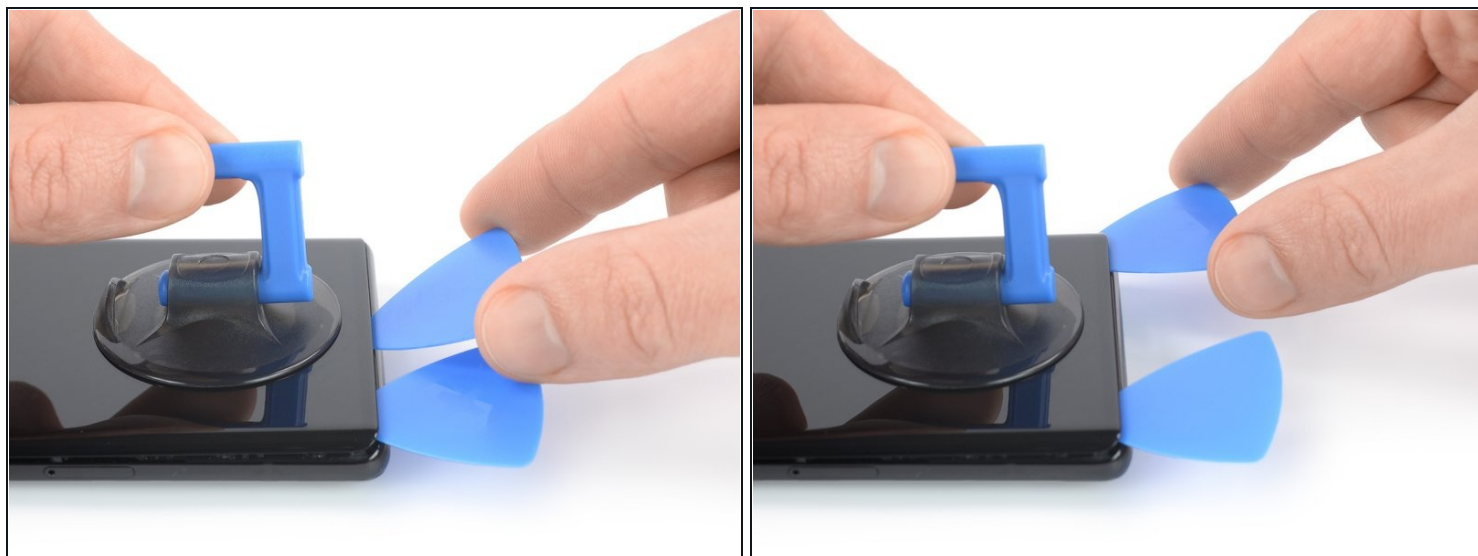
- 加熱した*iOpener*をスクリーンに当て、下の接着剤を緩めます。*iOpener*は3分以上当ててください。
- ① ドライヤー、ヒートガン、ホットプレートも使用できますが、加熱しすぎないように注意してください。

手順 6 — オープニングピックを差し込みます



- スクリーンが温まったたら、スクリーン下端に吸盤を当てます。
- ① スクリーンの割れがひどい場合は、透明のガムテープを重ねると吸着できる場合があります。また、吸盤の代わりに非常に強力なテープを使用すれば吸盤をスクリーンに接着することもできます。それでも難しい場合は強力なボンドを吸盤に付着してスクリーンに取り付けてください。
- 吸引ハンドルでスクリーンを安全フレームを含めて持ち上げ、スクリーンとデバイスの間に小さな隙間を作ります。
- オープニングピックをスクリーンフレームとデバイス本体の隙間に差し込みます。
- ⚠ オープニングピックを正しい位置に差し込み、スクリーンがデバイス本体ではなく、セーフティフレームから分離しないように注意してください。
- オープニングピックをスクリーン左下隅にスライドさせ、接着剤を切開します。
- 接着剤が再装着しないように、オープニングピックをそのままにしておきます。

手順 7 — 接着剤をスライスします



- 下端に2本目のオープニングピックを差し込み、スクリーン右下にスライドさせて接着剤をスライスします。
- 接着剤が再装着されないように、オープニングピックをその位置に残しておきます。

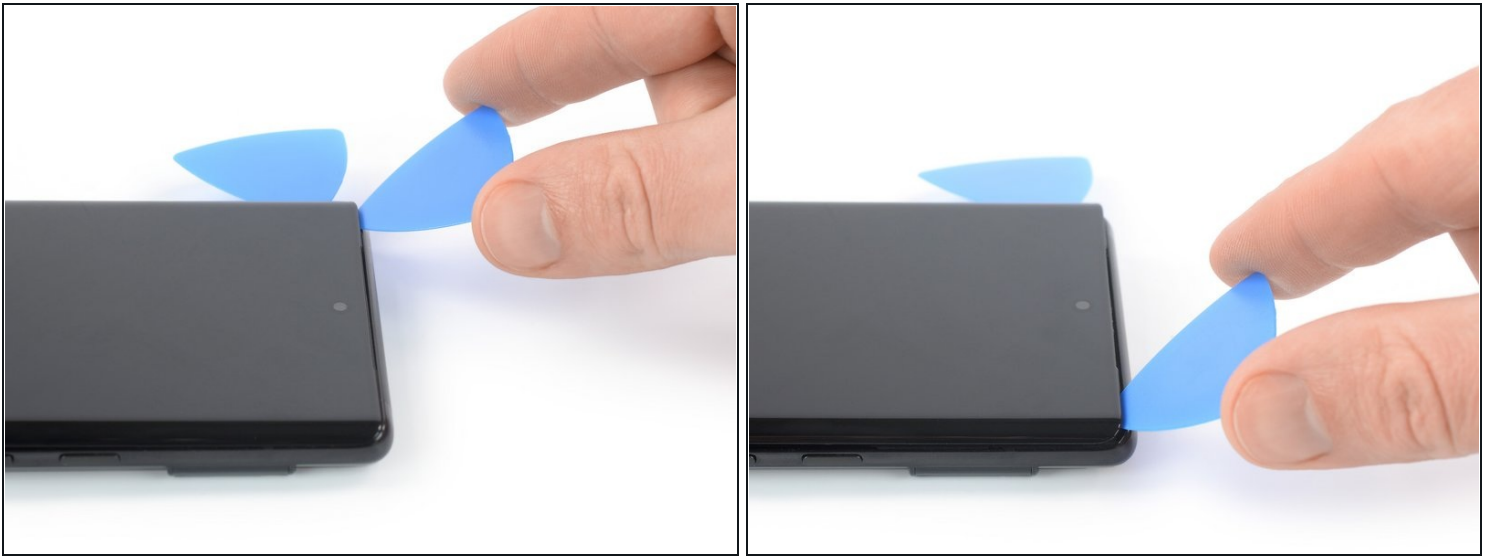
手順 8



① Google Pixel 6 Proのスクリーンは、接着剤だけでなく、[小さなプラスチック製のピン](#)によっても固定されています。万が一、スクリーンを取り外す際にピックが止まって先に進まない場合は、ピックをスクリーン下に深く挿入しすぎたことを意味します。ディスプレイの接着剤をスライスするときは、オープニングピックの先端(最大3～4mm) だけ差し込んでください。

- スクリーン左下隅の下に3本目のオープニングピックを挿入します。
- オープニングピックをスクリーン左端にそってスライドさせ、接着剤をスライスします。
- 接着剤が再装着しないように、オープニングピックを左上隅に残します。

手順 9

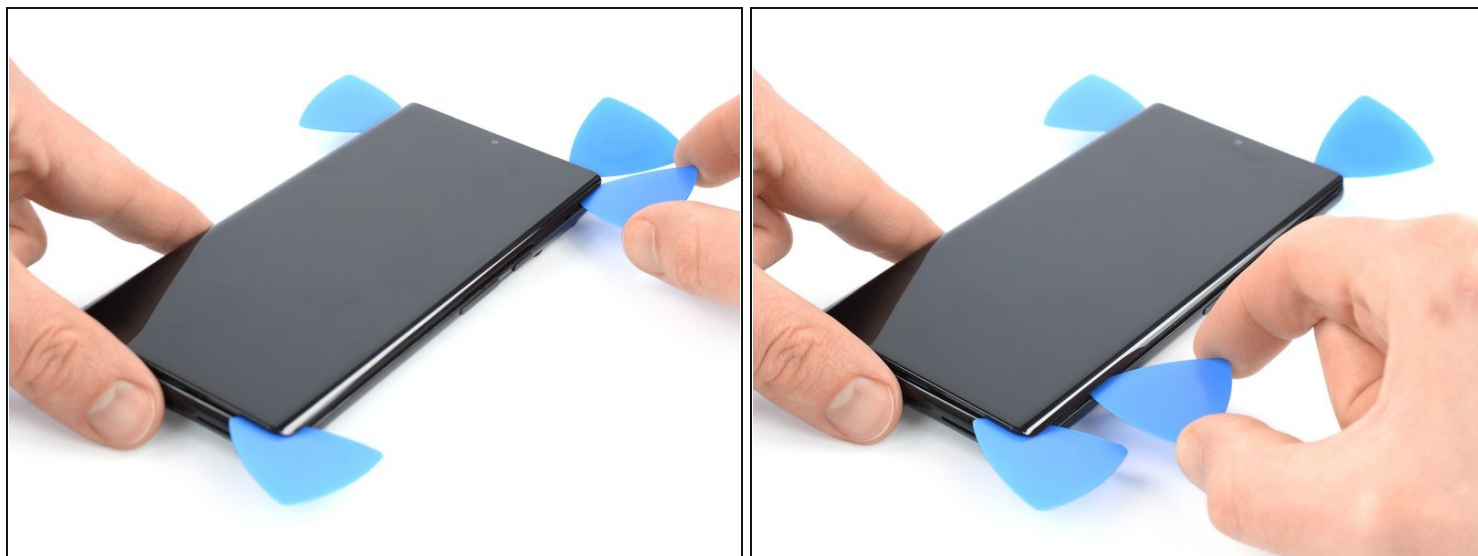


① 接着剤が切れにくくなった場合は、接着剤が冷えている可能性が高いです。[iOpener](#)やヒートガンで1～2分ほど温めなおしてください。

⚠ 前面カメラの近くでスライスするときは、カメラを傷つけたり汚したりしないように、オープニングピックの先端（～2～3mm）だけを挿入します。

- スクリーン左上隅に4本目のオープニングピックを挿入します。
- オープニングピックをデバイス本体上端にそってスライドさせ、接着剤を切り取ります。
- 接着剤が再装着しないように、オープニングピックを右上隅に残します。

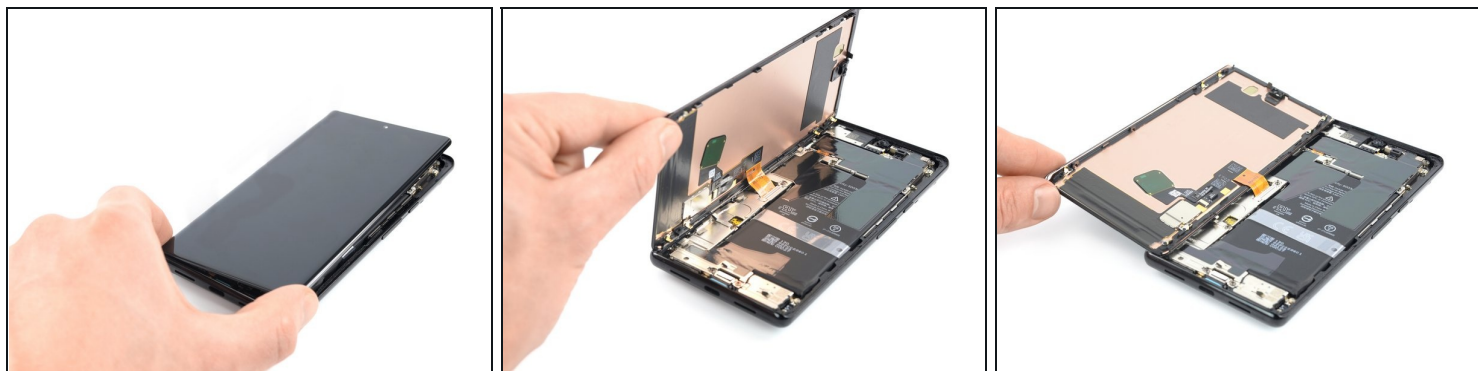
手順 10



- 5番目のオープニングピックを挿入し、携帯電話の右端に沿ってスライドさせ、残りの接着剤をスライスします。

⚠ まだディスプレイを完全に取り外そうとしないでください。スクリーンはまだデバイス本体アセンブリに接続されています。

手順 11 — デバイス本体を開きます



⚠ 以下の手順では、ディスプレイケーブルに負担をかけないように注意してください。

- 本の裏表紙を開くように、スクリーンを本体アセンブリの左側に向けてゆっくりと開きます。

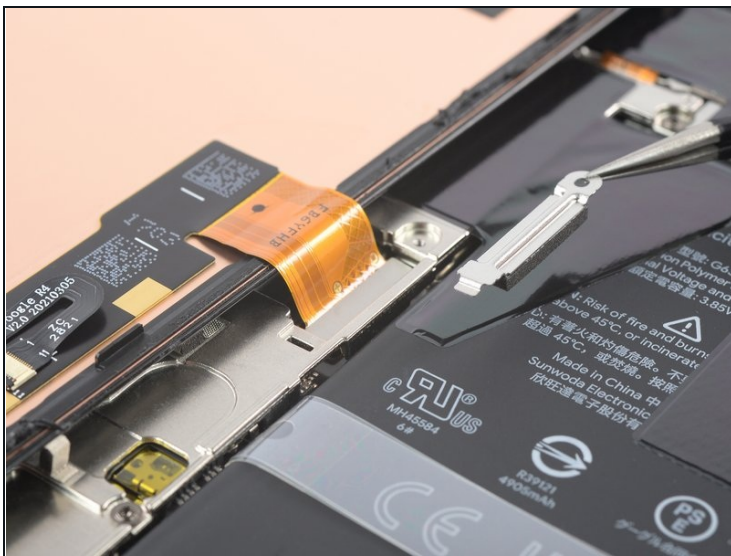
手順 12 — ディスプレイブラケットのネジを外します



- Pixel 6 Proがトルクスプラスネジを使用していますが、スタンダードトルクスビットでも対応できます。ネジが潰れないように下向きの力を加えながらゆっくりと一定の力で回してください。
- トルクスT3ドライバーを使用して、ディスプレイケーブルの金属ブラケットを固定している長さ2.0mmのネジを外します。

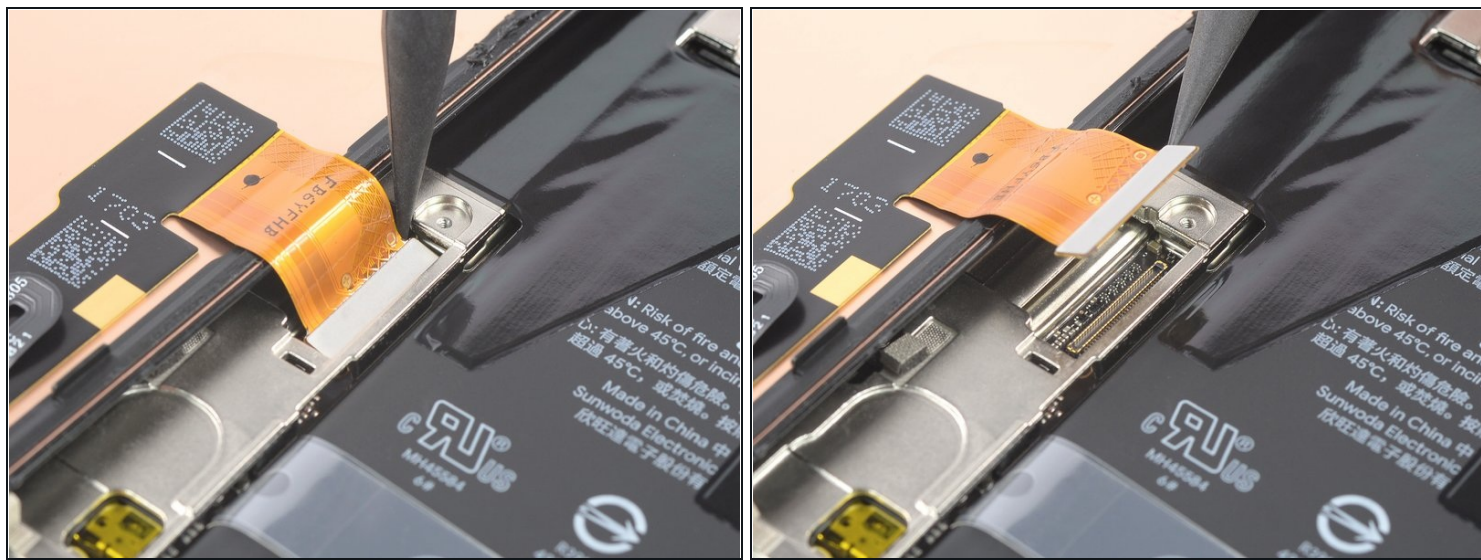
① この修理の間、[各ネジの位置情報を記録し](#)、元の場所に正確に戻しているか確認してください。

手順 13 — ディスプレイケーブルのブラケットを外します



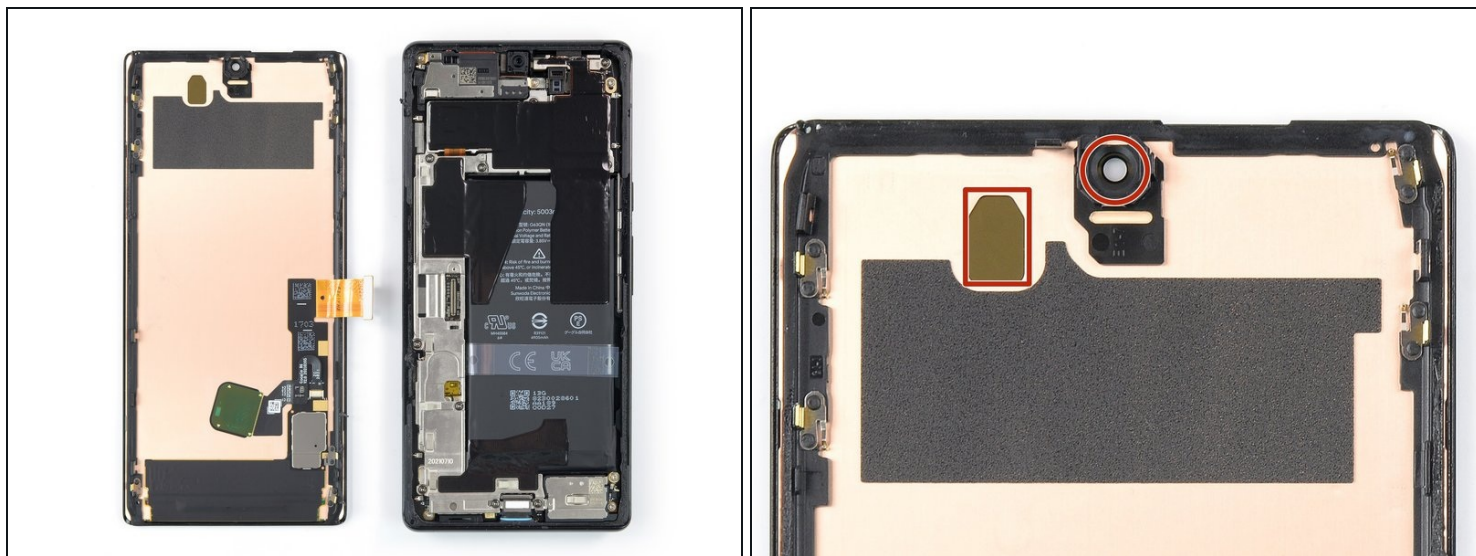
- ピンセットを使って、ディスプレイケーブルコネクタの上にある金属製のブラケットを取り外します。
- 再組立のために、このパーツを安全に保管して下さい。

手順 14 — ディスプレイケーブルを取り外します



- スパッジャーを使って、ディスプレイフレックスケーブルのコネクタを、ソケットからまっすぐ上にこじ開け、取り外します。

手順 15 — スクリーンを取り外します



- スクリーンを取り外します。
- ☑ 再組立ての際、次のように作業を行います。
 - スクリーンを交換した場合、スクリーンのフロントカメラ用の穴とセンサーの切り込みに保護用ライナーがないか確認します。デバイスを密封する前に、これらのライナーを取り除いてください。
 - ① ディスプレイケーブルブラケットを忘れずに再装着してください。
- ここで、デバイスを接着剤で密封する前に、修理後のデバイスをテストする良いポイントです。スクリーンを一時的に接続し、デバイスの電源を入れ、期待通りに動作することを確認します。再組み立てに戻る前に、携帯電話の電源を切り、スクリーンを外します。
- [このガイドを参照して](#)、カスタムカットされた接着剤をデバイスに装着してください。
- プレカットされた接着剤カードを使用する場合は、[このガイド](#)を参照してください。
- 新しいスクリーンをインストールする場合、[このガイド](#)を参照して、指紋センサーをキャリブレーションしてください。

可能であれば、新しい接着剤を取り付けて再封印する前に、デバイスの電源を入れ、修理のテストを行ってください。

デバイスを再組み立てするには、上記の手順を逆にたどってください。

新しいスクリーンを固定するには、カスタムカットの両面テープをスクリーン背面に貼るのが最適です。

Pixelのオンデバイス診断ツールで診断をする場合は、[こちらのドキュメント（英語）](#)を参照してください（注意：本項追記時点では、Pixel診断ツールは日本国内では使用できません）。

e-wasteを処理する場合は、[認可済みリサイクルセンターR2](#)を通じて廃棄してください。

修理が計画通りに進まなかった場合 [ベーシックなトラブルシューティング](#)を試してみるか、このモデルの[アンサーコミュニティ](#)に助けを求めてみてください。